

コロナ禍における武蔵野大学中学校・高等学校の対応について

1月7日、政府より緊急事態宣言が発出されました。

本校としては、冬になると、再度、緊急事態宣言が出されることを想定して、Zoomなどを活用したオンライン遠隔授業の準備を進めてまいりました。

現在、国や自治体は「学校は通常登校を続ける」とのことです。それも一つの解だと考えております。

ただ、私たちは、このまま急速に収束する可能性が低く、通常登校に対する不安や、今後改めて「学校の登校自粛」につながることもあると考えています。また、無症状だったとしても、生徒の皆さんが感染している可能性も懸念されます。そうしたことから、ご家族や地域社会への感染拡大の影響を少しでも減らし、この国に貢献することを前提に、「オンラインを活用した遠隔授業」を行う決断をしました。

当面の間は、学校から本校の先生によるZoomを使ったリアル授業を配信します。最初はどううまくいかないこともあると思います。その際は、ぜひフィードバックをください。未経験な部分もあり、足りないところだらけかもしれませんが、本校の根幹である「チャレンジすること」「貢献すること」「正のフィードバックをし、みんなで創り上げていくこと」が試される時だと思っております。

生徒の皆さんは、毎日家にいる生活が中心になると思います。そこで、オンラインでのイベントができなかなど、意見を聞かせてもらえると嬉しいです。「企画は1000個出して、3つ叶えばいい方だ」とも言います。あきらめずに先生方に色々と相談をしてみてください。本校の先生方はきっと応えてくれるはずですよ。

最後に、保護者の皆様におかれましても、本当に大変な状況で、ご不安なことだと拝察します。

このような状況だからこそ、学校法人武蔵野大学としての、「心の教育」が何より大切だと信じております。「心の教育」を大切に、「学びの継続性」を担保しながら一緒に頑張っていきたい、と教職員一同思っております。

通常登校ができ、生徒の皆さんと直接会える日が早く来ることを心待ちにしています。一緒に困りながら、少しずつ前に進んでいきましょう。

校長 日野田 直彦